



TITLE:

表紙 (泌尿器科紀要 第35巻第8号) 雑報 購読要項・投稿規定

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙 (泌尿器科紀要 第35巻第8号) 雑報 購読要項・投稿規定. 泌尿器科紀要 1989, 35(8): 1467-1468

ISSUE DATE:

1989-08

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/116616>

RIGHT:

泌尿紀要

Acta Urol. Jpn.

ACTA UROLOGICA JAPONICA

Vol. 35, No. 8 August 1989



泌尿器科紀要

第35巻 第8号 1989年8月

【原著】

- 副甲状腺機能亢進症の画像診断……………森川 満・ほか…1279
- In vitro BrdU 標識法と抗 BrdU モノクローナル抗体を用いた
尿路性器腫瘍の細胞動態学的研究……………島袋 智之・ほか…1285
- 腎盂尿管癌の外科的治療ならびに術後補助化学療法による治療成績……………沼沢 和夫・ほか…1291
- 腎移植患者における尿蛋白, 尿 FDP (fibrinogen degradation products) および尿 NAG (N-acetyl- β -glucosaminidase) の検討……………国方 聖司・ほか…1299
- 腎外傷22例の臨床的観察……………武縄 淳・ほか…1305
- 膀胱腫瘍における Malignant potential の指標としての ABH-isoantigen
—CEA, BMG, Leu-M1, H 抗原の併用に関する検討……………三枝 道尚…1311
- 浸潤性膀胱癌およびリンパ節転移を有する膀胱癌に対する
M-VAC 療法の治療成績……………井川 幹夫・ほか…1323
- 膀胱頸部における VIP 神経の役割……………滝本 至得・ほか…1329
- フローサイトメトリーによる 前立腺上皮細胞の PA/DNA 量同時解析……………島袋 智之・ほか…1335
- 前立腺癌の臨床的検討……………工藤 潔・ほか…1339
- 前立腺偶発癌の治療の検討……………斎藤 清・ほか…1347
- 尿道下裂術後の後退した外尿道口に対する形成手術: MAGPI 法 (meatal advancement and glans plasty incorporated), modified MAGPI 法
と Mathieu 法の比較……………西村 一男・ほか…1355
- インポテンス患者に対する心電図 R-R 間隔変動係数の測定……………高崎 登・ほか…1361
- インポテンス患者に対する Penile Brachial Pressure Index の測定……………高崎 登・ほか…1365

【症 例】

- 原発性上皮小体機能亢進症に多発性骨髄腫を合併した1症例……………片山 孔一・ほか…1369
- 副腎骨髄脂肪腫の1例……………三宅 修・ほか…1373
- 慢性人工透析患者における腎細胞癌の1例……………斎藤 政彦・ほか…1379
- 腎盂腎杯憩室に発生した移行上皮癌の1例……………安達 高久・ほか…1383
- 腎 Oncocytoma の2例……………佐々木昌一・ほか…1387
- 著明な嚢胞状変性を呈した腎平滑筋腫……………矢島 勇臣・ほか…1391
- 重複下大静脈を合併し, 膀胱全摘後に発生した左尿管腫瘍の1例……………稲葉 洋子・ほか…1397
- 悪性度の高い組織像を示したポリープ様尿管腫瘍の1例 (英文)……………竹内 秀雄・ほか…1401
- 多発性尿管憩室の1例……………千葉喜美男・ほか…1405
- 小児下大静脈後尿管の1例……………千葉喜美男・ほか…1409
- 81歳まで長生きした神経因性膀胱を伴う二分脊椎症の1例……………牛山 武久・ほか…1413
- 外傷性睾丸脱出症の1例……………増井 靖彦・ほか…1417
- 巨大陳旧性陰囊血腫の1例……………高 栄哲・ほか…1421
- 膀胱後部腫瘍との鑑別が困難であった空腸平滑筋肉腫の1例……………山本 新吾・ほか…1425
- 外陰部を男性に形成した混合型性腺形成不全症……………細見 昌弘・ほか…1431
- Prune belly syndrome の2剖検例と発生病因……………武中 篤・ほか…1439

【統計】

- 三樹会病院における臨床統計 (第9報) —1988年度外来新患統計—……………丹田 均・ほか…1445

【治療】

- 進行腎細胞癌に対するヒトリンパ芽球由来インターフェロン (HLBI)
単独療法と抗癌剤との併用療法の比較……………浅川 正純・ほか…1451
- Iohexol の尿路造影における至適用量の検討……………大島 伸一・ほか…1457
- 夜尿症に対する塩酸テロリジンの臨床的検討……………笹川五十次…1463

泌尿器科紀要

Advisory Committee

阿曾 佳郎	熊本 悦明	園田 孝夫	田崎 寛	前川 正信
町田 豊平	宮崎 重			

Editor : 吉田 修

Deputy Editor : 竹内 秀雄

Associate Editors

大川 順正	折笠 精一	熊沢 淨一	小磯 謙吉	友吉 唯夫
渡辺 決				

Editorial Board

生駒 文彦	上田 豊史	碓井 亜	大江 宏	大島 伸一
大島 博幸	大田黒和生	大野 良之	大森 弘之	岡 隆宏
岡島英五郎	岡田謙一郎	岡田 裕作	岡本 重禮	香川 征
垣添 忠生	片山 喬	加藤 哲郎	守殿 貞夫	河合 恒雄
河田 幸道	河邊 香月	川村 寿一	川村 猛	桐山 奮夫
栗田 孝	桑原 正明	郡 健二郎	古武 敏彦	小松 洋輔
小柳 知彦	近藤 厚生	酒徳治三郎	桜井 勲	里見 佳昭
島崎 淳	白井 将文	瀬川 昭夫	田中 啓幹	津川 龍三
土田 正義	東間 紘	中田 瑛浩	名出 頼男	東原 英二
久住 治男	平尾 佳彦	三品 輝男	宮川美栄子	三宅 弘治
宮崎 一興	矢谷 隆一	八竹 直	山中 英寿	山辺 博彦

Managing Editor : 松田 公志

Language Editor : 貝原 純子

Secretary : 太田 賢

雑 報

第22回日本インポテンス研究会

主題テーマ： インポテンスを全人間的立場から考える

日 時： 1989年12月2日（土）午前9時半～午後4時

会 場： 九州大学医学部同窓会館（医学部キャンパス内）

演題申込： 締め切り 1989年10月31日（火）必着

事務局： 〒812 福岡市東区馬出3-1-1

九州大学医学部泌尿器科学医局長室

田中 正利

Tel 092-641-1151 内 2513

購 読 要 項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都 5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投 稿 規 定 (1989年3月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、臨床統計、そのほかで英文または和文とする。原著、症例報告、臨床統計などは、他の雑誌に発表されたことのない内容でなくてはならない。
 - (1) 総説、原著論文、臨床統計、そのほかの普通論文の長さは、原則として、刷り上がり本文5頁(400字×20枚)までとする。
 - (2) 症例報告の長さは、原則として、刷り上がり本文3頁(400字×12枚)までとする。
 - (3) 和文原稿はできるだけワープロを使用し、B5版用紙に20字×20行、横書きとする。年号は西暦とする。文中欧米語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め(ただし、文節の始めに来る場合は大文字)、タイプで明瞭に記載する。
 - (4) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名(教授、部長、院長、科長、医長など)、著者名の順に和文で記載する。筆頭者名と、2語以内の running title を付記する。
例：山田、ほか：前立腺癌・PSAP
 - (5) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。ワープロ原稿可。
 - (6) 英文原稿はA4版原稿用紙にダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録本文の順に記した和文を付記する。
3. 図(Fig.)、表(Table)は必要最小限にとどめ、普通論文では図10枚、表10枚まで、症例報告では図5枚、表3枚までとする。
図、表、写真などはそれぞれ台紙に貼付し、それらに対する説明文は別紙に一括して一覧表にする。説明文は英文を原則とする。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。写真はトリミングし、図・表は誤りのないことを十分確認のうえ、トレースして紙焼したもの(コピー不可)が望ましい(コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。写真は明瞭なものに限り、必要なら矢印(直接写真に貼付)などを入れ、わかりやすくする。
4. 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文の文脈順に入れる(アルファベット順不可)。その数は30までとする。
例：山田^{1,3,7)}、田中ら^{8,11-13)}によると...

雑誌の場合—著者名(全員)：標題、雑誌名 巻：最初頁-最終頁、発行年

例 1) Finney RP, Sharpe JR and Sadtowski RW: Finney hinged penile implant: experience with 100 cases. J Urol 124: 205-207, 1980

例 2) 竹内秀雄, 上田 眞, 野々村光生, 飛田収一, 大石賢二, 東 義人, 岡田裕作, 川村寿一, 吉田修：経皮的腎碎石術(PNL)および経尿道的尿管碎石術(TUL)にみられる発熱について、泌尿器科紀要 33: 1357-1363, 1987

単行本の場合—著者名(全員)：標題、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

例 3) Robertson WG, Knowles F and Peacock M: Urinary mucopolysaccharide inhibitors of calcium oxalate crystallization. In: Urolithiasis Research. Edited by Fleish H, Robertson WG, Smith LH and Vahlensieck W. 1st ed., pp. 331-334, Plenum Press, London, 1976

例 4) 大保直一：腫瘍病理学。ベッドサイド泌尿器科学，診断・治療編。吉田 修編，第1版，pp.259-301，南江堂，東京，1986

- (7) 原稿は，オリジナル1部とコピー2部（図，写真は3部ともオリジナル）を書留で送付する。万一にそなえて，コピーを手元に控えておくこと。

（原稿送付先）

〒606 京都市左京区聖護院山王町18

メタボ岡崎 301 号

泌尿器科紀要刊行会宛

- (8) 論文の採否：論文の採否は Editorial board のメンバーによる査読審査の結果に従い決定される。
- (9) 論文の訂正：査読審査の結果原稿の訂正を求められた場合は，40日以内に，訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて，編集部宛送付すること。なお，Editor の責任において多少字句の訂正をすることがある。
- (10) 校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
- (11) 投稿にあたっては，本誌を十分参考にして体裁を守ること。

3. 掲載

- (1) 論文の掲載は採用順を原則とする。

迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円，6頁以上は1頁毎に10,000円を加算したものを申し受ける。

- (2) 掲載料は1頁につき和文は5,500円，英文は6,500円，超過頁は1頁につき7,000円，写真代，凸版，トレース代，別冊，送料などは別に実費を申し受ける。

- (3) 薬剤の効果，測定試薬の成績，治療器械の使用などに関する研究論文（治験論文）については，掲載料を別途に申し受ける。

4. 別冊：実費負担とし，著者校正時に部数を指定する。

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, the director's name, key words (less than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer・PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details refer to a recent journal.

泌尿器科紀要 第35巻 第8号 1989年8月25日 印刷 1989年8月31日 発行
 発行 吉田 修 顧問 加藤 篤二 発行所 泌尿器科紀要刊行会
 〒606 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎 301 号 電話 (075) 752-0100
 FAX (075) 752-0190

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
